



柳沢中学校通信

# 朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校

校長 浅野周子

電話番号 042-463-5014

FAX番号 042-462-3104

令和4年6月20日 第3号

## 尊重すること



「尊重するとは、相手を大事にするということです。」

私たちは、生まれた時から日本国憲法で**基本的人権**を保障されています。この権利は、誰も侵すことのできない永久の権利です。

縁があって柳沢中学校で一緒に生活することになった248人の生徒と教職員約40人。世界に比べたら、柳沢中という小さな社会でも、いろいろな人がいます。

心で思ったことをすぐに言葉で表現できる人、心の中ではいろいろなことを思っているが、なかなか言葉にできないでいる人、行動ですぐ動ける人、動き出すまでゆっくりな人、読書が好きな人、絵を描くことが好きな人、空が好きな人、進んで人に話しかける人、

自分からはあまり話しかけない人、運動が好きな人、ゲームが好きな人、計算が好きな人、悩みができる人と人に相談する人、悩みができても一人で考えている人、掃除当番を一生懸命に取り組む人、自分のことを第一に考える人、自分のことより先に周りの人を気遣う人、人を笑わせることが好きな人、かばんの中がごちゃごちゃな人、歌が好きな人、犬が好きな人、待ち合わせの時に何時間でも待ってられる人。

「同じ人」はいません。それぞれに個性があります。ちなみに、わがままや自分勝手は個性ではありません。ただの迷惑な人です。

どの人も尊重され、1人1人が大事にされなければいけません。嫌がってないし、この人にならいいだ

ろうというのは、絶対にだめです。「嫌」と言えない人もいます。自分がされて嫌なことは、他の人にも絶対にしてはいけません。

そして、完璧な人はいません。誰でも、得意な分野と苦手な分野があります。失敗してもいいのです。失敗した人を責めたり、悪口を言ったりすることはだめです。

ただ、人によって成長のスピードが違うので、いつまでたっても精神年齢の低い人がいるかもしれません。なかなか、自分を変えられない人もいるかもしれません。

だからこそ、みんなで支え合って、みんなが居心地いい空間をつくっていききたいものです。

## 夢をかなえるために



5月の下旬から、3週間2名の教育実習生（保健体育科、社会科）が本校で実習に取り組んでいます。たくさんの職業の中から、「教員」を選択し、夢の実現に向けて実習を頑張ってます。2人の詳細な自己紹介は、各学年通信をご覧ください。（ホームページや職員室前にも掲示してあります。）

教員になるには、教員免許の取得が必須です。教員免許取得のためには、教職課程のある大学や短期大学で、定められた科目を習得し、各都道府県教育委員会に教員免許状の授与と申請を行った後、教員採用試験に合格すると晴れて採用となります。本校での教育実習が終了すると、教員採用試験に向けての準備が始まります。

是非、皆で応援し、朗報を待ちましょう。

さて、皆さんは、1年後、3年後になりたい自分、夢、自分のいいところ探しをやっていますか？

自分の好きなこと、やってみたいこと、得意なことなど考えてみてください。



# 行事は自分を大きく成長させる

授業公開日や合唱コンクールなどは、学校での皆さんの成長を保護者や地域の方に見ていただく発表の場です。今回の「50周年記念運動会」でも皆さんの成長ぶりを見ていただくことができました。行事は、自分を成長させるいい機会です。

3年ぶりの全校実施の運動会は、感慨深いものがありました。とにかく生徒たちが楽しく、充実した思い出になる運動会になるよう、感染予防対策を始め、さまざまな検討を重ねての開催となりました。

出場種目や表現（南中ソーラン）だけでなく、係の仕事にも一生懸命に取り組む柳沢中生たちを見て、「頑張る自分」「やり切る自分」を育てているなど感心しました。1人1役ということで、準備から片付けまで全ての生徒が携わり、改めて全校生徒で創り上げたことを実感できる運動会でした。

クラスや学年で団結して、同じ目標に向かってみんなで頑張ることは、学校でしか経験できない貴重な経験です。結果はどうあれ、頑張る過程を大事にし、うまくいかない時、みんなで相談したり、励ましたりして対話を重ねていくうちに、所属感に気づくことができたらいいです。

中学生のうちに達成感や成就感を味わえたら、それが自信となって今後の自分の力になることでしょう。

運動会が終わった時、楽しかった、嬉しかった、悔しかった、悲しかった、いろいろなことを感じたかもしれません。それは、心を入れて取り組んだ証（あかし）です。ぜひ、頑張った自分をほめてあげてください。

最後になりましたが、地域・保護者の皆様、PTA役員、おやじの会サポーターなどたくさんの方のご協力によって、運動会が開催できたことを生徒たちも学べたようです。ありがとうございました。



雨で中断後、再開に向けてのグラウンド整備



美術部作成による垂れ幕

## 奇跡の修学旅行

3年ぶりに修学旅行を実施できたこと、また全員が元気に笑顔で帰って来られたこと、さらに天候に恵まれたこと、全てが奇跡的だったといっても過言ではないでしょう。

東京駅丸の内南口の改札で、柳沢中3年生たちを待っていると、まるで京都についたかのような顔つき。ゆっくり休憩している様子で、どうしたのかと聞いてみると、朝のラッシュ時の電車の混み具合に驚いたようでした。いい経験を積んでいるなど思いました。やはり校外における学校行事は、様々な経験ができる点で大切です。

その後は、新幹線のグリーン車の座り心地のよさ、新大阪駅発修学旅行バストップ賞、どこもかしこも並んでいる修学旅行生、薬師寺僧侶による楽しくあ

りがたい説法、見上げるほどの大きい大仏様、近寄っても穏やかな鹿、突然の土砂降りなど次から次へと心に刺激を受けながら、魚岩旅館に着いた時の3年生たちは、安心しほっとした顔になっていました。

2日目の班行動、3日目のタクシー行動と初日に増して内容がバージョンアップしていき、日に日にたくましくなっていく感じが感じられました。

3日間を通して、3年生たちはよく頑張りました。とても立派でさすがだと感心しました。今後も「柳沢中学校の顔」としての活躍を期待しています。

